

春学期ゼミプラン

1. 授業のテーマ・目標

「現代経済の諸問題」

本ゼミでは、現代経済についていくつかの分野や視点から問題を検討することにより、現代経済の全体像をつかむことを課題とする。また、複数分野の諸問題の検討を通して、各人のもっとも興味深い問題領域と課題を見つけ知識を深める作業を行っていく。このように課題を発見したり追究したりする過程で、考える技術、話す技術、書く技術等、総合的なコミュニケーション力を養っていききたい。

2022 年度も引き続き、現代経済のトピックを取り上げ、テキストの読み取りや研究発表を行っていく。今期も、毎回ゼミの冒頭で新聞記事を取り上げて討論するが、とくに討論に多くの時間を割いて実践的な思考力、討論力を養いたい。さらに、論文作成の作法や技術を学んで、最終的に論文を完成することを課題とする。

なお、春学期はゼミの日時と就職活動が重なるケースがでてくると思われるが、ゼミにはできるだけ出席して情報の分析や活用を高めてほしい。ゼミ活動と就活の相乗効果を期待する。なお、就活によるゼミ欠席の手続きについては、「5. 出欠について」で確認する。

2. 授業の形態

(1) 新聞記事の読み取りとテキストの輪読を軸にゼミを行う。今期は、報告は簡単に行い議論に多くの時間を割く。レジュメについては、テキストの項目名、見出しのみ書き出してごく簡単に著者の論点を書く（項目だけで書いてあとは口頭で解説する形でもよい）。そのあとに、討論のための論点・疑問点をできるだけ多く書くという形を考えている。分量は A4 用紙 1 枚程度でよい。

- ・ 全員あらかじめ読んで理解し、それぞれ論点を考えておくこと。
- ・ 報告者は前日までにレジュメをメーリングリストあてに送付すること。

(2) 現在の情勢のもとでのさまざまな論点・問題点について議論を行う討論会を開く。

(3) 論文作法のテキストを 1 冊読んで、研究・論文作成の作法を学ぶ。

(4) 秋学期には、卒業論文の検討会を適宜行って論文を完成する。

3. 授業の内容・スケジュール

(春学期)

第 1 回 授業計画、ゼミのやり方

第 2 回～6 回…新聞記事の報告と討論、テキストの検討

(夏期セミナー)

- ・夏休みに学内・学外で研修をする予定。

(秋学期)

- ・卒業論文の報告、検討会を軸にゼミを実施する。

4. 学外授業

- ・日帰りの施設見学やレクリエーションをすることを考えている。

5. 出欠について

- (1) 5～7月は就職活動と重なって忙しくなるが、できるだけ出席をすること(ゼミの日に就職試験があっても、時間帯がずれておれば出席すること)。
- (2) やむを得ず欠席する場合は、早めに理由を付して連絡をすること。欠席の連絡については、所定の形式((3)を参照)にしたがって行うこと。
- (3) 就職活動と重なる場合の欠席では、①日時と時間帯、②試験等がある場所、③企業名を書いて電子メールを送ること。十分な情報を書いていない場合には、修正を求め、修正されない場合には欠席扱いとする。届け出がない場合には無断欠席とみなし認めない。なお実際の欠席連絡についてはHPの「欠席の連絡様式」を参照してメールで送ること。
- (4) ゼミの行事は参加すること。やむを得ず出席できないときは早めに連絡・相談すること。

6. 評価方法

出席回数、授業への参加態度、発言の量と質により平常点による評価を行う。

7. テキスト・参考図書

〈テキスト1〉濱口桂一郎『若者と労働』中公新書ラクレ、2013年。

濱口桂一郎『日本の雇用と労働法』日本経済新聞社、2011年。

〈テキスト2〉竹内晴夫「卒業論文の書き方」他のプリント→ホームページ掲載。

後藤芳文・伊藤史織・登本洋子『学びの技 14歳からの探求・論文・プレゼンテーション』